

Web 版図書館 NEWS

2018年7月号



短冊に願いを書き、笹に結びつける生徒たち。願いが届くよう、なるべく上につるしたいそうです。

夏休みに入りました！図書館は、勉強をしに来る生徒や補習待ちの生徒、文化祭準備に来る生徒が憩いにくる場所として、そこそこにぎわっています。

今号は、4月に行った新入生ウェルカムコンサート、6月の図書フェス、7月に行われた3年生全員のビブリオバトルの様子や、洛西高校で行われた図書館見学会、9月の文化祭で行う予定の図書カフェのご案内などを載せています。お楽しみください。

🌸 4/23・昼休みの図書館で『子ども読書の日ウェルカムコンサート』を実施しました！



新入生歓迎企画として、昼休みの図書館で吹奏楽部の演奏や合唱部のコーラス、有志の歌などを発表してもらいました。1年生がたくさん訪れて発表を楽しんでくれました。新入生なのに早速出演した人もいます。200人近い参加がありました。

🌸 図書委員会企画『図書フェスパート1』を開催しました！

🌸 図書パフォー6/19・20昼休み



有志の歌



演劇部の寸劇



合唱部の歌



ダンス部のパフォーマンス



息をのむ生徒たち

19日、20日の両日に向け、昼休みの図書館で様々なパフォーマンスが行われました。火曜日はフォークソング部の有志の素晴らしい歌と演奏、ダンス部1年の華麗なダンスで盛り上がりました。続く水曜日、生徒たちは合唱部の透き通る歌声に聞きほれ、演劇部の面白い劇で盛り上がり、ダンス部2年生のキレのあるパフォーマンスに息をのみました。二日間で約350人の生徒が図書館を訪れました。



ビブリオバトルー6／20放課後



ビブリオバトル出演者たち

出演者は5人の予定でしたが、その場で飛び入り参加が出て、6人の戦いになりました。チャンプ本は1年生女子の紹介した『ちょっと今から仕事やめてくる』が選ばれました。参加者は15名ほどでしたが、お茶をのみながらのなごやかな雰囲気、質問もたくさん出て、本についてもバトルーについても、より理解が深まりました。準備した図書委員も「参加者みんなが楽しんでくれて、良い取り組みだった」と感想を述べてくれました。



ウォーリーを探せー6／21昼休み



本棚を探す人たち



ウォーリー発見者



受付の図書委員たち

図書館の中に隠れているウォーリー20人を検索するイベントです。約40名の生徒が参加し、見つけたときには大きな歓声があちこちであがっていました。中には、1人で2人～3人のウォーリーを探し出した人もいて、楽しく参加してもらえたようです。



クイズ大会ー6／22昼休み



ヒントでピント



雑学クイズ



クイズに参加する生徒

ヒントでピント、イントロクイズ、向陽クイズ、雑学クイズ、なぞなぞの5種類のクイズを各担当者が用意しました。最初は人数が少なかったのですが、最後は120人ほどの生徒がいて、たくさんの方が参加してくれました。イントロクイズはやはり人気ですが、その他のクイズも盛り上がり、準備した生徒も「盛り上がって良かった」と喜んでいました。



3年生全員が図書館でビブリオバトルを行いました！

期末試験後の7月9日から19日まで、国語科の授業で3年生全員がビブリオバトルに取り組みました。1時間目は全国大会優勝者のビブリオバトルを觀賞して「本探し」、2時間目は5人ずつの班単位で本を紹介し、班の中でのチャンプ本を決定。3時間目は各クラスの班の代表がみんなの前に立ってバトルを行い、クラスのチャンプ本を決定しました。質問もたくさん出て大変盛り上がり、みんなとても楽しそうでした。

この学年は1年生の時からビブリオバトルに取り組んでいるので、その成長を実感できました。



洛西高校での図書館見学会に、図書委員が参加しました！



7月20日終業式の午後洛西高校で図書館見学会が行われ、市内西圏の府立高校の図書委員が交流を行いました。本校生徒も4名参加し、ビブリオバトルに出場したり、図書館グッズを作ったり、自校の図書委員会活動についての話し合いに参加したりしました。楽しかったようです。

員会活動についての話し合いに参加したりしました。楽しかったようです。



今年もやります図書カフェ！一文化祭 1日目（9/11・

火・昼）



文化祭1日目の昼休みに、図書委員会好例企画「図書カフェ」を今年もオープンします。来て下さった方に図書委員がお茶とお菓子をサービスする他、生徒のパフォーマンスや、図書委員会のクイズも予定しています。本校にお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。



司書のお薦め本



『こんな夜更けにバナナかよ』 渡辺一史著 文春文庫 880円

人工呼吸器を着けながらも自由を貫こうとした筋ジス患者・鹿野さんと、24時間体制で彼の自立生活を支えたボランティア達の心の葛藤を描いた本。予想を超える衝撃的な本でした。15年前に出版され、介護・福祉の現場で今も読み継がれる傑作ノンフィクション。2018年冬映画公開予定です。

🐝 『ユマニチュード入門』 本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ共

著 医学書院刊 2160円

「魔法のような」とも称され、認知症ケアの新しい技法として注目を集める「ユマニチュード」。「見る」「話す」「触れる」「立つ」という看護の基本中の基本をただ徹底させるケアの技法ですが、そこには精神論でもマニュアルでもないコツがあります。常識を徹底することで革命をおこした、そんなユマニチュードを知るための本です。人との関わりのすべてにいかせると思います。

🐝 『脱出記』 スラヴォミール・ラウィッツ著 ヴィレッジブックス 840円

第二次世界大戦のさなか、ポーランド陸軍中尉ラウィッツはソ連当局にスパイ容疑で逮捕され、シベリアの強制収容所へと送られます。6人の仲間と収容所からの脱走に見事成功しますが、その前途には想像を絶する試練が待ち受けていました。

シベリアからインドまでを歩き通し、極限状況を生き抜いた男たちの、壮絶なるノンフィクション。1956年に出版され、50年間読み継がれてきた傑作です。



七夕の短冊に願いを書く生徒たち

それではまた、次回のWEB版図書館NEWSをお楽しみに！